

学校推薦型選抜 解答例 令和7年度

小論文

【解答欄】

問1

(設問のねらい)

グラフに表現された傾向を的確に読みとる力、ならびにその結果が示唆することを考察する力をみる。

(解答例)

図1からは、保護者の世帯年収が低いほど、学校外の体験がない子どもの割合が高くなっていることがわかる。図2をみると、「保護者に経済的な余裕がないから」を理由として選択した割合が世帯年収の低さと関係しており、世帯年収が低いほど選択割合が高い。このことから、世帯年収が低いほど、経済的な理由により体験活動に必要な支出をすることが難しくなることが、図1のような結果となった主な理由として考えることができる。(199字)

問2

(設問のねらい)

学校外での体験の違いが子どもの将来にもたらす影響とその対策について論述させることで、論理的かつ批判的に考え、それを文章で的確に表現できる力をみる。

(採点のポイント)

- ・学校外での体験の違いが子どもの将来にどのような影響を与えるかを、そのように考える理由を述べながら、具体的に考えられているか。
- ・自分の考えに対し、その妥当性を批判的に検討することができているか。
- ・教師ができることについて、現実的な提案をすることができているか。
- ・文章が論理的かつ整合的に論述できているか。
- ・正しい表記を用いて記述できているか。